

NS Enhancer

取扱説明書



20260312

本機について

NS Enhancer (ナチュラル・サウンド・エンハンサー) は、入力されたラインレベルのステレオ音楽信号に対して、左右チャンネル間のクロストークを打ち消すための「ナチュラル・サウンド復元」信号をミキシングして出力する音場補正装置です。

接続について

この装置は、オーディオ・システムで「ラインレベル」の信号が流れている箇所に挿入接続して使用します。たとえば、次のような接続方法が考えられます。

- ◇ プリアンプとパワーアンプの間に挿入して接続する。
- ◇ プリメインアンプ等で、「外部プロセッサ接続端子」がある場合は、その端子に接続する。
- ◇ プリメインアンプ等で、CD プレーヤーなどの再生装置とアンプとの間に挿入して接続する。
- ◇ レコードプレーヤーの出力を本機に接続する場合は、レコードの信号をフォノイコライザーでラインレベルまで増幅した後の信号を本機の入力端子に接続する。フォノイコライザーの前に本機を接続すると、レコードの音楽信号が正しく再現されなくなります。



本体背面の DC 電源端子には、付属の AC アダプターの DC プラグを差し

込みます。DC 電圧は 24V で、「センタープラス」タイプの AC アダプターを使用できます。プラグのサイズは外径 5.5mmΦ、内径 2.1mmΦ です。

使用上のヒント

【電源スイッチをオン/オフするタイミングについて】

パワーアンプの電源がオンになった状態で本機の電源スイッチをオンまたはオフにすると、大きなポップノイズが出ます。アンプ類の電源は次の順序でオン/オフすることをお勧めします：

電源をオンにする順序：(1)プリアンプ (2)エンハンサー (3)パワーアンプ

電源をオフにする順序：(1)パワーアンプ (2) エンハンサー (3)プリアンプ

プリアンプのサービス・コンセントを利用するなどして、パワーアンプと同時にブースターの電源をオン/オフできるようにしたら、それがベストです。

NS レベルの調整方法

NS (ナチュラル・サウンド) レベルを調整するときは、多人数で演奏している音楽など、ステレオ感を聞き分けやすい音楽を鳴らしながら、次のように操作します：

1. NS レベル調整つまみを左方向に完全に絞った位置 ("Min") に設定して、音楽が鳴ることを確認します。
2. NS レベル調整つまみを右方向に回し、ステレオ感が増強され始めるポイントを探します。目安は 12 時～14 時の位置です。
3. そのまま NS レベルを上げていくと、NS 回路による音場補正効果が微妙に変化します。自分にとって音楽のステレオ感がいちばん自然に聴こえる位置を探してください。NS レベルを上げすぎると、前後方向の奥行き感が失われる傾向があります。

この調整は、最初は特に厳密に行なうというよりは、かなり大雑把な調整で構いません。おそらく「12時～14時」程度の位置で最適なポイントが見つかります。

最適な NS レベルは、スピーカーの設置状況やリスニング環境、音楽ソースの録音状態、音楽のジャンルや演奏形態などによって異なります。

いったん調整した後も、音楽を鑑賞しながら適宜調整していくと、自分の好みや音楽の種類に合った NS レベルが見つかるはずです。

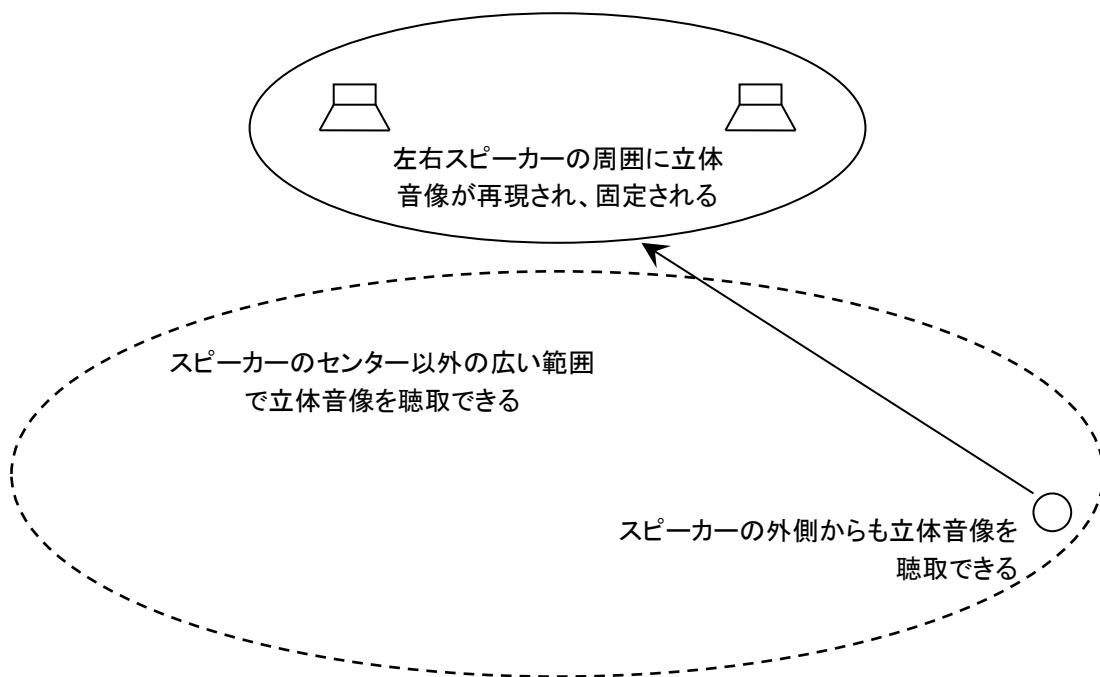
※NS レベルを上げすぎるとオーディオ・システムの状況によっては大音量で発振音が出ることがあります。ご注意ください。

なお、音楽のジャンルや録音/ミキシングの状態によっては、NS レベルを最小にしたほうがよい場合があります。たとえば、特殊な音響効果を加えてあるポピュラー音楽や電子楽器の演奏などです。

NSを活用するコツ

NSの効果を十分に発揮させるには、スピーカーの間隔を少し狭くし、内振りを「なし」にするか、内側に傾ける角度を少なくするのがコツです。

NSの効果が出ているかどうかを確認するには、音楽を聴きながら、頭をゆっくり左右に回してみてください。頭を回したときに各楽器の音の聞こえてくる方向が変化するようであれば、NSの効果が出ていません。NSの効果が発揮されていると、頭を回しても聞こえてくる音場が変化せず、一定です。また、下図のとおり、スピーカーの前後左右に移動しても、明瞭なステレオ感を聴き取ることができます。



NSを利用して音楽を聴いたときに違和感を覚えたり、楽器の定位がいつもと違うように感じたり、ステレオ音像がゆがんでいるように感じたりすることがあります。普段から「従来型のステレオ装置」で音楽を長時間にわたってお聴きになり、従来のオーディオ装置とスピーカーから出る音を頭の中で「ステレオ音像に再構築する作業」をほとんど無意識のうちに行な

えるようになっているオーディオ愛好家の皆様ほど、そのような経験を
する可能性が高いと考えられます。

そのような場合には、ステレオ感を明瞭に聞き取れる、聴き慣れた音楽
を、ある程度の時間 NS オンの状態で聴き続けて「耳と頭脳を NS に慣ら
す」ようにしてみてください。そうすれば、次第に違和感が解消されるは
ずです。

また、一般的に、次のような調整方法があることを念頭に置いてくださ
い。

- ◇ 独奏楽器やヴォーカルなどが「奥へ引っ込んでしまう」「他の楽器やオ
ーケストラと一体化して聴こえる」という状態になった場合には、NS
レベルを少し絞ると、独奏楽器やヴォーカルが前に迫り出して、自然な
感じで音楽を聴けるようになります。
- ◇ 音楽を聴く音量が小さいときは NS レベルを少し絞り、音量が大きいと
きは NS レベルを少し上げるとよいかもしれません。
- ◇ NS レベルが適正レベルより大きすぎると、音の聴こえ方に違和感が出
ることがあります。その場合は、NS レベルを下げてください。

主な仕様

周波数特性 (NS レベル最小時) : 20Hz~200KHz (± 0.1 dB)

利得 : 1 倍 (0B)

ひずみ率 (NS レベルつまみを最小の位置に設定した場合、

1KHz、1V 出力時) : 0.0035%

残留ノイズ (NS レベル 12 時の場合、JIS-A 補正) : 0.01mV

サイズ : 幅 17 × 奥行き 12 × 高さ 5.5cm (突起部を除く)

電源： DC 24V (AC アダプター) (センタープラス・タイプ / 外径
5.5mmΦ/内径 2.1mmΦ)

※本機に標準添付の AC アダプターは、スイッチング電源方式ではなく、トランス方式ですので、スイッチングノイズを心配する必要なくご利用いただけます。(注: 2026 年 5 月頃まではスイッチング電源方式)

製品の保証と修理について

保証期間は、製品を NS 工房から出荷した日を起点として 1 年間とします。

出荷日： 年 月 日

製品の動作に不具合がある場合は、不具合の内容をメールで NS 工房までご連絡ください。

もし製品の故障と判断される場合には、製品を NS 工房まで宅配便などで返送していただき、NS 工房で点検・修理を行ないます。恐れ入りますが、返送時の送料はお客様のご負担とさせていただきます。

保証期間内の故障で、故障の原因がお客様の原因でない場合には、無料で修理いたします。

保証期間外の故障の場合には、点検・修理に関する手数料と交換パーツ代をお客様にご負担いただきます。

製造元・連絡先：

〒247-0073

神奈川県 鎌倉市 植木 66-1 コープ鎌倉 513

Email: ns_kobo@nifty.com

NS 工房 名取 俊忠